

2021 年年頭あいさつ

皆さんあけましておめでとうございます。この動画は、主に TOKYO FM と関連会社の社員・役員の皆さんを対象にお話するものですが、もちろん JFN 系列各局の皆さん、そして当社の事業を支えてくださっている広告会社やエンタメ業界、そして日々のコンテンツクリエイティブを共にしていただいているプロダクションやスタッフの皆さんにもご視聴いただいていることを前提にお話をさせていただきたいと思います。

・・・世界を一変させたコロナショックの中で迎える初めての新年です。まず、1 年前、2020 年の年賀式・・・まだホールに集合してできたんですね・・・その時私がお話したことについて思い出したいと思います。項目は主に 4 つありました。一つは、巨額の損失を出してしまった i-dio の厳しい収束作業が佳境を迎える年であること、二つ目は、我々は楽しくて面白くて興味深くて時に素敵だと思っていただけるコンテンツを作ってそれをビジネスにしていくコンテンツ事業者であり今まさに番組作りの改革が急がれること、そして、TOKYO FM のブランドカラーを再建すること、三つめは、情報革命・インターネット革命の中でコンテンツ事業者として革命の波に我々のコンテンツを乗せて行き未来を切り開くこと・・・つまり、FM 事業者からオーディオコンテンツ事業者への脱皮ですね。4 つ目は、営業戦略戦術の進化でした。かつての営業が売ってくると制作費が増えて制作が怒られるなどというばかばかしい運営は全くなりなくなりました。営業は編成制作と協議しながら今世の中に求められていることは何なのか、生活者は何を歓迎するのか、そして、スポンサーはそんな生活者の変化の中で何に関わろうとしていて何を応援したいのか・・・その接点を追求しながらの営業が大切ではないか、それがネット時代にあっても放送が追及すべき営業であり、そうした取り組みに力を入れて行こうということでした。

一つ目の i-dio については、西川副社長を始めとする関係者の努力で、大きな損失を出しながらも何とか終息への道が見えてきています。二つ目の編成改革とブランドの再建、これは編成制作と営業の協力を中心にして大きな前進があったと思っています。4 月 10 月にはラジオでしかできない表現と説得力を持ったいくつもの新番組ができたし、日常の番組にも明るく自由な勢いが出てきた。嘘や建前が消えてなくなってくれた。それによって、18~49 歳のメインターゲットでは 4 月 6 月 8 月 10 月とすべてのレーティングでトップを走るまでになりました。村上春樹さんのレギュラー特番は当社のブランド価値を格段に上げてくれました。4 月には、我々の新しい企業理念=私たちは伝わる言葉と心に届く音楽で生活者の人生に寄り添い、生活者と共に豊かな物語を紡いでいく存在でありたいと思います・・・一言にして「ライフタイムオーディオ 80」という言葉を掲げることもできました。この一年で民間放送連盟賞最優秀賞をとったし、放送文化基金賞グランプリをとったし、文化庁芸術祭でも優秀賞をうけるまでコンテンツ力に底力がついてきたことは嬉しいことです。そして三つ目の FM 事業者からオーディオコンテンツ事業者への脱皮については、これは 1 年で画期的な成果をあげられることではありません。デジタル戦略局中心に、AuDee を立ち

上げて、まだまだ助走期ではありますが、収益の面では3月までに2億円近い成果を残せる見込みです。また、試行錯誤を重ねた今、AuDeeは、プロである我々が作るコンテンツと、様々な趣味嗜好を持った生活者が各ジャンルのカリスマと共にどんどん自発的にコンテンツをアップロードできる、それが自然増殖していく、素人が作るものも面白いネット時代ならではのプラットフォームにしていこうという新たな方針が生まれました。デジタル局では、インスタグラムの日本代表を務めて成功に導いた長瀬さんというプロデューサーにAuDeeのエグゼクティブプロデューサーに入ってもらって、ほかにもネットの達人たちをチームに招き入れてその方針に向かうことにしています。さらに4つ目の営業戦略戦術の進化については、日常の営業と編成の協力関係が格段に前向きなものとなっているのはとても嬉しいことです。4月にはレギュラータイムを大きく落としてしまいましたが、その後はコロナ禍の中で踏ん張ってくれており、9月からスポットでは前年越えを続けるという他局にはない成果を上げてくれています。FMフェスティバルでの楽天カード全枠提供や地方創生での山梨県大型企画導入も大きな成果でした。また、4月に発足した戦略プロデュース室は、10月には4つのレギュラータイムを導入し、来月の村上春樹ジャムでは、サンフランシスコに本拠を置く世界のITソリューション企業セールスフォース導入というビッグビジネスを実現しました。経営管理もシユアな仕事を続けてくれていて、会社運営を支えてくれています。11階を関係者みんなが和める夕方からはビールも飲めるコミュニケーションスペースにしてくれたし、・・・みんなもっとどんどん使ってくださいよ。ビルの屋上や壁面の看板も新しいロゴの素敵な看板に3月までに替えてくれるし、前向きに取り組んでくれています。

いろいろ課題や改善点はあるもののコロナ禍にあっても会社はよい方向に進み始めていることを私は確信しています。正月ぐらいは讃えあって褒めあいましょう。コロナの深刻期もあと半年でしょう。みなさん、今年も楽しく、よい意味で厳しく、お互いギスギスカサカサせず明るく優しい心で、前進していきましょう。ありがとうございました。